

議会だより

たけとよ

Gikaidayori Taketoyo

NO.
162
2018年
2月1日
発行

愛知県武豊町議会
平成29年12月定例会

12月議会のあらまし

期間 12/1(金)～12/14(木)

- 内容
- ・諮問、承認案件…………… 2件
 - ・補正予算関係議案…………… 7件
 - ・条例関係議案…………… 6件
 - ・その他議案…………… 2件
 - ・一般質問…………… 12人



指定管理が決定したゆめフルたけとよの自主事業
フットサルに夢中になる子どもたち

もくじ	ページ
●特集……………	2
●視察報告……………	4
●一般質問……………	6
●住民対話集会……………	15
●住民の声……………	16

平成30年4月1日から 「ゆめフルたけとよスポーツクラブ」が 体育施設の指定管理者に!



平成30年4月1日～平成33年3月31日まで、武豊町総合体育館・武豊町運動公園・武豊町運動公園第2グラウンド・武豊緑地グラウンド・学校施設の開放(受付事務)を、特定非営利活動法人ゆめフルたけとよスポーツクラブが管理することになりました。

議案質疑

体育施設の管理を委託

問 指定管理の期間が3年間の理由は。

答 指定管理の受託経験が無いため、最初の3年間で安定運営を図り、軌道に乗せていきたい。

3年間の管理運営状況を踏まえ、次の指定管理期間を協議していく。

問 会場予約の際、指定管理者主催の事業が優先になり、子ども会や個人利用が不利になるようなことはないか。

答 一般利用者の予約の弊害とならないように、指定管理者の主催事業は、利用時間の少ない時間帯を中心に事業展開を行っていたたく予定である。

毎月開催予定の町との検討会でも協議し、必要な指導を行っていく。

新入学前の援助を早期に実施

問 要保護・準要保護児童生徒の入学準備金の支給スケジュールは。

答 広報たけとよ1月合併号に内容を掲載。新小学1年生には1月下旬の入学説明会で、また、新中学1年生については、小学校を通じてお知らせをする。

支給日の予定は、2月20日までの申請分については3月12日を予定している。

問 対象者の算定基準日はどのようにするのか。

答 所得により認定の判定をする場合は、1学期末までの認定支給分については前々年分の所得により判定。1学期終業日より後の支給分については、前年所得により、再度判定を行う予定をしている。



家庭系刈草・剪定枝も
資源化!

刈草等リサイクル処理委託料
47万6000円

刈草や剪定枝も、指定された場所に持込みリサイクルされます。



小・中学校の入学前に、
新入学児童生徒
学用品費を支給!

要保護・準要保護児童生徒援助費
275万5000円

これまで、入学後に支払われていた新入学児童生徒学用品費が、入学前に支払われます。

主な採決結果

○：賛成 ×：反対 ー：欠席 議長は採決に加わりません。

平成29年第4回定例会	1 富永 良一	2 甲斐百合子	3 久野 勇	4 櫻井 雅美	5 青木 信哉	6 青木 宏和	7 本村 強	8 梶田 進	9 南 賢治	10 石川 義治	11 森田 義弘	12 大岩 保	13 鈴木 一也	14 石原 壽朗	15 福本 貴久	16 岩瀬 計介	採決結果	
平成29年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	-	○	○	○	○	○	可決	
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		○	-	○	○	○	○	○	○	可決
議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×		○	-	○	○	○	○	○	○	可決
町長、副町長の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×		○	-	○	○	○	○	○	○	可決
教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務専念義務の特例に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×		○	-	○	○	○	○	○	○	可決
職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		○	-	○	○	○	○	○	○	可決
母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		○	-	○	○	○	○	○	○	可決
財産の無償貸付について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	-	○	○	○	○	○	○	可決
体育施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	×		○	-	○	○	○	○	○	○	可決

文教厚生委員会

「介護予防強化推進事業」「ウェルネスシティ」

10月24日・25日に奈良県生駒市と宇陀市を視察しました。

生駒市

平成24年より厚生労働省の介護予防強化推進事業（予防モデル事業）として始めており、その先進事例を学びました。

早くから総合事業への移行を進め、通所型サービスC（短期集中予防サービス）に、リハビリ専門職が関わることが重要であるとして進めている。

武豊町では、平成29年10月より通所型サービスCを実施しており、今後の進め方の参考にしたい。



■奈良県生駒市視察風景

宇陀市

総合計画の中に「健幸社会の実現に向けてウェルネスシティ」をかかげ、全庁的に取り組んでいる。健康で幸せなことは誰もが望むことで、実現に向けて、本町でも考えていかなければならないことです。

「健康たけとよスマイレージ」に相当する「健康ポイント事業」では、地元の実業家から多くの協賛を得ていました。

今後、多様な団体への補助やポイント制のあり方について考えていくうえで、たいへん参考になる事例でした。

総務企画委員会

「郷づくり計画」「インターネット中継」「予算書」

11月14日・15日に福岡県福津市と粕屋町を視察しました。

福津市

「郷づくり計画」

武豊町の自治区は18区で構成されていますが、福津市では約100区ある区を8地区の郷でわけ、この郷が中心となり大きな地域自治を進めています。

宮司地区の宮地嶽神社は、嵐が出演しましたJALのCMに採用されており、観光客も増加しているということです。

「インターネット中継」議場の機材などの改修も含め約2100万円。ランニングコストが年間約100万円とのことでした。

粕屋町

「わかりやすい予算書」

武豊町でイメージしますと予算大綱と予算説明書と実施プログラムを合わせて3で割ったようなもので、町民にわかりやすくまとめられており、全戸配布されているとのことでした。

「インターネット中継」議場の機材などの改修も含め約2500万円。ランニングコストが年間約100万円とのことでした。

いずれにしても、導入時のインシヤルコストが高額なことから、武豊町では、今の機材で対応が出来ないか調査研究を進める必要があると思います。



■粕屋町議会議場のシステム

議会だより特別委員会 「伝わる広報誌へ」

9月29日に東京都にて平成29年度全国町村議会広報研修会に参加しました。全国から214町村議会が、愛知県からは6町村が参加しました。

研修内容

- ・議会広報誌の文章について「伝える広報」から「伝える広報」へ
- ・議会広報 広報誌×電子広報 なにがどう変わってきたか！
- ・第31回議会広報コンクール トップ2 優秀賞受賞紙から学び

取り入れたいこと

- ・内容は定例会だけに終始せず、閉会中の活動も掲載する。
- ・ネットや新聞報道のような速報性はないため、情報の付加価値がある紙面を作成する。
- ・審議結果だけではなく、そこから期待される効果も掲載する。
- ・中学生が読んでもわかる文章、見やすい紙面作りを

心がける。

研修後の改善点

- ・「定例会のあらまし」を表紙にわかりやすく簡条書きにしました。

- ・一般質問の大項目一覧を目次として掲載しました。(P6)

- ・ちよつと息抜きコーナー、トピックスを掲載しました。(P7・9・11・13の最下段)

今後も見やすい紙面を目指し、随時改善していきます。



■町村議会広報研修会研修風景

武豊町議会

「武豊町内企業を知る」

11月13日にエイゼンエコプラザと中山名古屋共同発電所を視察しました。

エイゼンエコプラザ

エイゼンエコプラザは、昨年9月に竣工されました。各家庭で分別されたプラスチック製容器包装と紙類は、パッカー車で収集されこのエコプラザに運ばれます。それぞれ機械と人の手により再度分別され、1㎡のサイコロ状に圧縮梱包後、再商品事業者へ運搬されます。まだまだゴミの分別で迷ってしまうとの声に、



■エイゼンエコプラザの視察風景

社長曰く、「迷ったら資源ゴミに入れてください。こちらでちゃんと分別します。」とのこと。リサイクルされた紙類はトイレットペーパーになり、町内の学校施設でも使われているそうです。

他にも草や枝、食品残渣を発酵飼料にリサイクルさせるアグリ事業を展開し、循環型農業の構築も行っていました。

中山名古屋共同発電所

平成12年4月運転開始の名古屋発電所の隣に建てられ、昨年9月に運転開始になった名古屋第二発電所。石炭発電ながら、木質ペレットを30%混ぜることにより、二酸化炭素の排出を30%削減させた、環境に配慮したバイオマス混焼の発電所でした。石炭が一切外気に触れることなくボイラーまで運ばれており、窒素酸化物・硫黄・ばいじんなどの有害物質は各装置により除去され、大気測定も行っているとのことでした。

一般質問 町政を問う



12議員が質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般に対し、疑問点を質問し確かめることです。会派の代表が質問する「会派代表質問」と、個々の議員が質問する「個人質問」があり質問時間は答弁を含め50分以内です。

ページ

質問者(登壇順)

質問事項

7 福本 貴久 ・平成30年度予算編成について

8 鈴木 一也 ・いじめ・不登校について

9 富永 良一 ・地域コミュニティバスの利便性向上について
・期日前投票と投票率UPについて

10 上 青木 宏和 ・国民健康保険税について

下 久野 勇 ・武豊町における高齢者施策について

11 上 石川 義治 ・武豊町立図書館の運営について

下 石原 壽朗 ・家庭系ごみの再資源化について

12 上 岩瀬 計介 ・美観、景観政策づくりについて
・町内公共施設トイレ事情について

下 本村 強 ・ゴミ出しルールと住民周知の方法について

13 上 甲斐 百合子 ・病児病後児保育について
・成人の口腔ケアについて

下 櫻井 雅美 ・指定管理者事業報告書・評価の公表について
・0歳児の保育拡充について

14 上 梶田 進 ・大気汚染測定局の設置について
・工場立地法の一部改正について
・鹿狩池の浄化について



政和クラブ
福本 貴久 議員

町政65周年に 想定される事業は

第6回ふれあい山車まつりなど

平成30年度予算編成方針の中で、新たに追加された事項について質問する。

アンケート調査や ワークショップを開催

問 ともに創るまちの中で「目指すまちづくりの方向性や、それを実現するための施策などを定める指針となる第6次総合計画の策定に向けた準備を進める」とあるが進め方をつかがう。

答 企画部長 平成30年度は、調査研究を進め、町民から幅広く意見収集をするために、アンケート調査の準備をする。

平成31年度に3000人を対象にアンケート調査を実施し、公募による町民と職員がワークショップなどを行い、総合計画の素案の策定作業を進めていく。

平成32年度は、審議会にて意見聴取をした後、議会に図り、平成33年度から新たな総合計画のスタートを目指していく。

公衆無線LANの 環境整備を進める

問 安全に暮らせるまちの中で「災害時における新たな情報提供の手段の調査研究及び、災害時における音声通話以外の通信手段の充実改善を図るため一次避難所へ無線LAN環境の整備を推進する」とあるが、どのような整備を検討しているのか。

答 総務部長 大規模災害などの緊急事態に、避難者や帰宅困難者の通信手段を確保するため、避難所指定されている各小中学校・高校・町民会館・総合体育館などに、インターネットを接続できる公衆無線LAN環境整備を近々に進めていく。

受入れ対象を 小学6年生まで拡大

問 子どもが健やかに育つまちの中で「緑丘・衣浦・富貴児童クラブの定員の増加を見据えた措置を講ずる」

とあるが、どのような措置を講ずるのか。

答 健康福祉部長 平成30年度からは、受入れ対象を小学6年生までに拡大する。学年も大きく異なっている中で、支援員には、子ども一人ひとりの発達過程を踏まえた育成支援が求められるので、支援員の資質向上を図り、受入れ体制を整える。

衣浦みなとまつり 花火大会も実施

問 活力に満ち誇りをもてるまちの中で「町政65周年となる平成31年度に向け、記念事業の準備を進める」とある。前回の町政60周年を踏まえ、どのような事業が想定され進められるのか。

答 町長 定着している事業として、「みなとまつり花火大会」「記念式典」「ふれあい山車まつり」を実施する方向で進めていく。平成30年度には、プレイベントとしての事業も実施



したいと考えている。



きずな
鈴木 一也 議員

不登校対策にスクールソーシャルワーカーを

問

近隣市町の取り組みを調査研究する

答 教育部長 6月に「いじめ問題対策連絡協議会」総会を開催し、学校・町関係者・知多教育事務所・警察・児童相談センター・PTA・

問 協議会や委員会の設置は。

不登校対策を

スクールサポーター・カウンセラー・ソーシャルワーカーの連携が最大の効果を生むのでは。

いじめ対策を

問 今年3月に武豊町いじめ防止基本方針が定められ、各学校でも基本方針が策定されたが、どのような取り組みをするのか。

答 教育部長 町・学校・地域や関係機関・保護者が、それぞれの役割を果たしながら、今まで以上に密接に連携していく。

各学校では、日常の観察やアンケートを実施し、早期発見・早期対応を重視し、地域では、下校時の見守りをしている。

保護者からは、児童生徒の様子の変化や、いじめではと思われる事案の連絡が届いたりもしている。

民生児童委員・人権擁護委員など多くの機関が、基本的な考え、情報を共有した。各学校では「いじめ防止対策委員会」を定期的に行うなど機を逸することなく対応している。また、重大事案が発生した場合は「いじめ問題専門委員会」を招集する。

問 今後増えていくと思われるSNSによる、いじめ防止の対策は。

答 教育部長 学校でネット社会でのマナーやSNSトラブルなどによる、いじめ防止や効果的な対応について学んだり、保護者向けの講習会を開催したり、PTA総会などで啓発活動などの取組が必要と考えている。

問 不登校になる前の、登校しぶりの児童・生徒への対策は。

答 教育部長 欠席が増えたり、家庭から登校しぶりの情報を得たりすると、家庭訪問や保護者との相談、登校した時の声かけなど、いつも以上に見守りを厚くしている。

また、支援が必要な子供には、ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業や、Q-Uテストを参考に学級経営をしている。

問 今後、今まで以上に、各機関や各方面と連携していかなければならないが、先生たちの激務や、非常勤によるスクールサポーターやスクールカウンセラーだけでは対応しきれないと思う。スクールソーシャルワーカーの起用が必要では。

答 町長 武豊町では、スクールサポーターが、毎日不登校傾向にある児童生徒の家庭を訪問し、相談活動や引率業務を行っている。指導主事と各学校の担当者も、月1回の要保護対策連絡協議会などで、虐待が心配される家庭などの情報交換をしている。緊密な連携体制のもと、ケース会議の開催や、外部機関への通告も進められていることから、現段階ではスクールソーシャルワーカーの配置は考えていない。



■適用指導教室「ステップ」のある砂川会館



公明党議員団
富永 良一 議員

問 コミュニティバスのフリー券を

答 調査・研究していきたい



■武豊コミュニティバス「ゆめころん」

75歳以上にフリーパス券の発行を

問 運転免許証の自主返納の方はもとより、75歳以上の方にコミュニティバスの方フリー券の発行を検討してはどうか。

答 総務部長 利用しやすい制度としたいが、受益者負

担の原則を念頭に入れた総合的な判断であるから、現時点では考えていない。

今後は、利用者や地域公共交通会議の多くの意見と、他市町を参考にしながら、高齢者が利用しやすいバスのためた公共交通事業にするため調査・研究をしていきたい。

問 利用しやすいように、半年とか年間バスポート券を発行する事はできないか。

答 防災交通課長 定期券のよくなものと思うので、今後の課題として捉えていきたい。

各停留所に椅子の設置を

問 椅子の無い停留所が北回り（赤ルート）で10カ所、南回り（青ルート）で9カ所ある。民間の敷地内など難しい所もあるが、公道では工夫すれば設置ができると思うがどうか。

答 防災交通課長 できる所は設置しているが、「地域公共交通会議」などで検討して進めてきたい。

期日前投票所の増設による投票率のUPを

問 平成30年7月に選挙システムの更新時期を迎えるが、入場券の裏面に宣誓書の印刷ができないか。

答 選挙管理委員会書記長 平成30年度のシステム変更は、ハードウェアを中心に切り替えをするので、来年の更新時はソフトウェアは変えずに今のまま使う。

問 他市町や近隣の市町でショッピングセンターなどに期日前投票所を設けて、利便性向上に努めて投票率のアップにも繋がっている。一度やってみてはどうか。

答 総務課長 他市町と比べて駅と庁舎が近く利便性も良いため、期日前投票所の増設は考えていない。提案として受け止めさせていた



■コミュニティバス停留所



青木 宏和 議員

問 平成30年度の国民健康保険税は 答 税率の見直しが必要

平成27年5月に「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、国民健康保険においては、平成30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保など、制度の安定化を目指すことになった。

「国保税」繰越金で維持

問 武豊町の「国民健康保険事業」の財務状況は。

答 健康福祉部長 平成26年度が7464万円の赤字、平成27年度が2074万円の赤字、平成28年度が1181万円の赤字である。現状では繰越金があるもので、何とか維持できている。



■国民健康保険税のパンフレット

愛知県全体の納付額が増加

問 愛知県から9月に出された3回目の納付金額の試算結果から、武豊町の「国民健康保険税」への影響は。

答 町長 平成30年度の改革に向け、国が示した一定基準によって、武豊町は平成27年度との比較で、11・27%増の納付金額が算定されている。

医療の高度化や高齢化、一人当たり給付費が増加する「自然増加分」が見込まれた影響により、愛知県全体の納付額が増加した。

武豊町においても、平成30年度には、給付費の増加分程度を見込んだ税率の見直しが必要になると考えている。



久野 勇 議員

問 高齢者施策の目指す方向は 答 在宅医療・介護連携システム

地域包括ケアシステムの構築とは

問 地域包括ケアシステムの構築においては、在宅医療の充実と医療と介護の連携が重要です。本町の現状は。

答 健康福祉部長 在宅医療を介護連携システム（ゆめたろうネット）で充実を進める。往診などが必要に応じた増やし、自宅で医療が充実できるよう、介護者のケア、相談体制を含め、システムを構築していきたい。

問 このシステムの対象者の条件は。

答 福祉課長 65歳以上となるが、介護の状態によって臨機応変に対応していく。



■ゆめたろうネットイメージ図

問 認知症の施策の推進はどうか考えているのか。

答 健康福祉部長 認知症への理解を深めるための講演会開催、認知症サポーターの養成、各種サービスの流れを図化した「認知症ケアパス」の作成を行っている。

問 生活支援サービス事業の現状は。

答 福祉課長 社会福祉法人、民間企業の関係者が参加する「協議体」で、今年度をめどに生活支援サービスの現状と課題を共有し、その供給を充実させる方法について検討していく。



石川 義治 議員

問 町立図書館の課題を問う

答 開架スペースを増やす

一層の利用者増加に向け

問 指定管理者制度の導入により、何が変わったのか。

答 教育部長 閉館時間の延長、月曜祝日の開館、富貴駅へのブックポスト設置、電子掲示板、図書消毒器の設置がされた。

問 指定管理者が、学校や保育園に対し、特に心がけていることは。

答 教育部長 学校への団体貸し出し、調べる学習コンクールへの支援をしている。

問 今後の図書館のあるべき姿に向けた施策は。

答 町長 開架スペースを増加、WiFi環境の整備を含めたインターネット情報の提供、町内施設や諸団体と事業を展開したい。

問 行政資料の保存に対する対応は。

答 生涯学習課長 各部局に、閲覧可能な資料の納本をお願いしている。

問 公共施設カルテに示された課題などに対しての見解は。

答 総務部長 指摘を受け、更に経費の削減やサービスの向上を図っていく。



■図書館の開架スペース

問 ごみ再資源化の利便性向上を

答 具体的施策を進めていく

家庭系ごみの再資源化は、平成34年の知多南部広域環境センター供用開始も見据え、更なる利便性が必要。

回収拠点の課題解決を

問 エコステーションを活用して粗大ごみ回収が検討されている。武豊高校前のエコステーションでは駐車場の拡大など、交通安全対策が必要ではないか。

答 町長 たけとよエコステーションで平成30年3月からの粗大ごみ回収に合わせ、コンクリート塀とフェンスを撤去し、作業スペースも拡大するように、事業者と調整を進める。

問 新たな刈草・剪定枝の回収拠点について、リサイクル業者だけでなく、渋滞や接触事故が起らない集積方法を、担当課も積極的に検討すべきではないか。

答 生活経済部長 一般家庭から出る草や枝を、特定の時

期に限って地区集積所で回収することも含め、検討を進める。

問 武豊町ごみ処理基本計画では、町内に4つのエコステーション整備を掲げているが、行政面積の少ない本町では、中央部に渋滞や待ち時間のない、大きな回収拠点を整備すればよいのではないか。

答 生活経済部長 候補地は決まっていないが、基本計画に沿って、南北に2カ所の設置を検討していく。



■たけとよ資源回収エコステーション



岩瀬 計介 議員

「まちの顔」としてふさわしいまち並みを形成

問 武豊駅東の美観、景観など全体像をどのように描いているのか。

答 町長 駅周辺地区を「中心拠点」と位置付け、地域資源を活用しながら、商業・サービス・住居などの充実を図る。まちの玄関口としてふさわしい、賑わいのある「まちの顔」づくりを進める。

地域との意見交換などでは、みゆき通りのイメージとして「色調は、パステルカラー（中間色）を生かし、若々しさ、やわらかさを強調する」「デザインについては、モダンな形態が望ましい」という方向付けがされた。
今後、「歴史、文化、地域性」など「武豊らしさ」をアピール出来るよう、地域の皆さんと一緒に検討していく。



■質問者の景観イメージ図

計画的に順次改修予定

問 町内公共施設トイレの今後の改修計画は。

答 健康福祉部長 高齢者生きがいセンターは、シャワールームに改修し、玉置老人憩の家、大足老人憩の家の多目的トイレについては、今後の課題として地元と協議していきたいと考えている。



本村 強 議員

本町では、ごみ処理施設の2市3町による広域化に合わせて、平成33年9月までに年間1000tのごみの減量に取り組む。10月から雑紙類の回収が始まり、紙類300t、刈草・剪定枝360t、粗大ごみ340tを分別回収することによって目標達成を目指す。

併わせて、クリーンセンターへの持ち込みごみについては、10kg100円の有料化によって、排出抑制を図る。

住民理解と協力のための周知が大事

問 今回行った周知方法は。

答 生活経済部長 町内18区における説明会、広報、ホームページ、アパートにおけるチラシ配布などである。

問 平成18年に行った容器包装リサイクル導入時の周知活動との差はあまりにも大きいのでは。

答 生活経済部長 10月の実績から見ても、周知が行き届いていないと思う。今後、CCNC、区の回覧の活用なども考えていく。

問 区に未加入の方も含めて利用されるゴミの集積所に、目につくような看板設置が必要では。

答 環境課長 どのような方法がいいのか今後考えていく。

問 減量目標達成のために、生ごみの水切り施策も取り入れるべきでは。

答 環境課長 水切り効果は10〜20%だと聞いている。今後PRしていきたい。



■回収が始まった雑紙類

問 ごみ減量目標の達成は可能か

答 現状のままでは大変厳しい



甲斐 百合子 議員

問 病児病後児保育設置の進捗は

答 検討中ながら事業実施に至らず

病児病後児保育の実施を

問 病児病後児保育事業の検討の進捗状況は。

答 健康福祉部長 平成23年に町内の医療機関にアンケートを実施し、医療機関の意向を確認しつつ個別の調整を重ねてきたが、解決策が見いだせず、事業実施に至っていない。

問 現在、病児病後児保育を必要としている方への対応は。

答 健康福祉部長 常滑市内にある医院の病児病後児保育サービスの利用を紹介している。



問 今後、病児病後児保育事業の方向性の考えは。

答 町長 仕事を持つ保護者にとって「子どもの病気は」、特に就労を継続していく上で、一つの課題である。

病児病後児保育に対するニーズは高く、平成25年度に未就学児童の保護者を対象に実施したアンケートにおいても、約1割の方が利用意向を示している。本町において、各種の子育てサービスを充実していくことは、重要な課題である。

しかしながら近隣に十分な環境を整えた施設があり、その資源を引き続き活用することも、選択肢の一つとして考えられる。いずれにしても、現状を整理し、一定の方向性を示すべき時期に来ていると考えている。

問 0歳児の入所条件緩和を

答 時代に合わせて見直したい



櫻井 雅美 議員

働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現が目的とされる女性活躍推進法が成立して2年が経過した。本町でも時代に合った施策を行ってほしい。

ニーズ調査を行い時代に合った計画に

問 「勤務先の健康保険に加入していること」が0歳児の入園条件であることについてどのように思われますか。

答 子育て支援課長 入所に対して一定の基準を設けなければいけない。社会保険に加入していれば常勤であることが確認できるため条件としている。

問 今の風潮に合わないこの制度を、武豊町は今後どのようにしていくのか。

答 健康福祉部長 現行の子ども子育て支援計画を策定した当時とは、状況が変化している。計画を見直す際に

は、アンケートなどでニーズ調査を行い、32年度からの計画には時代に合った施策を進めることができるように策定したい。

問 今年度は0歳児がすでに定員に達しており、今申込みがあれば待機が出る状態になっているが、今後、保育園の改修を行わずに定員増加はできるのか。

答 健康福祉部長 現在5園が改修をせず、増員することが可能となっている。





梶田 進 議員

問 自動車排ガス測定局の設置を 答 設置の可能性について研究

近年臨海部において、中山共同火力発電所の2号機建設、中部電力の5号機リニューアル、ごみ焼却施設、屋内温水プールなど数多くの建設、建設計画などがある。それに伴い臨海道路の車両通行量は増大し、町内で有数の通行車両台数が多い道路となっている。

通行車両の増加により、自動車排ガスによる大気汚染が心配される。地域住民の皆さんが安心して暮らせるよう、自動車排出ガスを常時監視するための測定局を設置するよう求めた。

通行車両台数は

問 臨海道路の一日の車両通行量は何台となっていますか。

答 生活経済部長 知多南部環境衛生組合による調査結果では平日で約1万3700台、土曜日で約1万2300台、日曜日で約9900台となっています。

大気汚染の測定結果は

問 臨海道路の大気環境測定結果はどのようになっていますか。

答 生活経済部長 南部環境組合の測定によりますと、一酸化窒素、二酸化窒素、浮遊粒子状物質とも環境基準値以下。騒音は基準値を超えていました。

常時測定局の設置を

問 地域住民の安心を確保するため、自動車排ガス測定局の設置をされたい。

答 町長 臨海部での自動車排ガス測定局については、愛知県との協議も含め、設置の可能性について研究したいと考えています。



臨海道路の交通状況

Q&Aその後どうなった?

そういえばあの答弁どうなったのかな

「本の消毒器」導入!

武豊町立図書館は、平成24年度から、図書館運営を(株)図書館流通センターが行なっています(指定管理者制度)。その結果、来館者、貸出冊数なども大幅に増えました。小さい子どもから大人までの多くの利用者が、安心して本と親しめる環境にしていくことが大事です。

問 不特定多数の方が利用される本を、清潔に維持管理するために「本の消毒器」を設置したらどうか。

答 今のところ、町としては導入の予定はしていない。しかし、運営を指定管理者にお願いしているので、機械設置の提案があれば相談には応じます。(平成28年12月議会)

その後

平成29年11月3日の「図書館フェスタ2017」から利用できるようになりました。



本の消毒器の使い方

本を借りる方が、貸出手続きをしたあとに、セルフで消毒します。ごく簡単です。わずか30秒で終了。



図書館に設置された本の消毒器

平成29年度 武豊町議会住民対話集会

H29年11月19日 玉西2区 / H29年11月25日 大足区



■玉西2区住民対話集会の様子

武豊町議会では、毎年「開かれた議会」を目指して、町民の皆さんと住民対話集会を行っています。今年度は区に出向いての開催にしました。

本町が進めている主な事業について、進捗状況を含め説明し、その後参加者の意見交換を行いました。

参加者からの主な意見

玉西2区

●住民対話集会の開催趣旨

は何か。

●開催に際しどのような周知を図られましたか。区に任せきりではなくチラシを作成するなどの努力を。

●認定ごども園が設置されることですが、場所はどこですか。

●議会の状況をインターネット配信してほしい。

●駅から武豊高校へ行く間の歩道の整備をすすめて。

●武豊高校から北へ向かっている道路の拡幅が進まないのはなぜか。

●自主防災会として区長さんが替わった月に、区担当職員と早い時期に顔合わせがしたい。

大足区

●大足老人憩の家の雨漏りがある。施設の整備計画を作してほしい。

●ピアゴ南側の東へ向かう通学路が危険である。見直しは可能ですか。

●大足地域に0歳児保育の保育園を希望する。



■大足区住民対話集会の様子

主なアンケート内容

●今回のように地元開催だと気軽に参加、意見交換ができる。次回も参加したい。

●参加者が少ない、もっとPRが必要では。

●もっとテーマを絞って進めればよいと思う。

●町の情報などを地区の議員から説明してほしい。

住民対話集会に参加していただきありがとうございます。地元ならではの意見や要望を伺うことができました。有意義な会となりました。町の施策に関する事項は議長を通じて町へ報告します。

また次回開催に向けて住民の皆さまに気軽に参加していただけるよう、準備を進めてまいります。



民生委員・児童委員 小塚南海子さんにインタビュー 名誉ある愛知県知事表彰を受賞!



こづか なみ こ
小塚南海子さん

Q 活動をしていて特に気になる事は。

A 若いお母さんは私たちの存在を知らない人が多く、

Q 委員の仕事の内容は。

A 主に通学路での子どもの見守りや、役場と連携し独居老人宅への訪問や相談などを受けています。

Q 委員を引き受けた経緯は。

A 学校のPTA役員を経験後、地元の区長さんや、役場の方にぜひにと勧められ、引き受ける事になりました。

子育てに困っていても相談に来られませんか。気軽に声をかけていただけると嬉しいです。

Q 委員になって良かった事は。

A 委員を引き受けて30年目になりますが、私は人が好きなので、多くの人の関わりが持てたことがとても良かったです。他の委員のみなさんもいい方ばかりです。今では活動が楽しく、充実した生活の一部となっています。



■第65回愛知県社会福祉大会知事表彰記念品

●町民の議会に関するご意見

皆さまからの議会に関するさまざまなご意見を募集しています。
応募は、手紙・電話・メールで。

〒470-2392 武豊町字長尾山2番地
☎(0569)72-1111 (内線207)
✉gikai@town.taketoyo.lg.jp

※応募に当たっては、必ず、住所、氏名、連絡先(電話・メールアドレス)を記入してください。
掲載時は、ご希望によりイニシャル表示とします。また、写真・ご意見とも掲載時に編集することがあります。

編/集/後/記

「議会だより」は定例町議会ごとに、議会だより特別委員会が責任を持って編集・発行しています。
今号より編集内容を一部変更しました。変更の発端は、昨年9月、東京で開かれた「町村議会広報研修会」に参加し、より分かりやすく、より多くの方の目にふれ、読んでいただける広報紙とする要点を学んだことをもとに、特別委員会で議論し変更しました。
これからも、委員の英知を集め、親しまれ、読まれる「議会だより」編集にまい進してまいりますので、ご期待ください。(梶田 進)

お知らせコーナー

議会を傍聴しましょう!

本会議場で行われる議会は、どなたでも傍聴することができます。また、各委員会は、委員長の許可があれば傍聴できます。

次回定例会日程(予定)

2月 22日(木)	請願・陳情提出期限
3月 2日(金)	9時 開会
8日(木)	9時 一般質問
9日(金)	9時 一般質問
14日(水)	9時 議案質疑
15日(木)	9時 総務企画委員会
16日(金)	9時 文教厚生委員会
19日(月)	9時 建設経済委員会
23日(金)	14時 採決

一般質問の放送予定
ケーブルテレビ(CCNC)
3月17日(土)・24日(土)
午前9時から

